

片目のごあいさつ

小川未明

青空文庫

新ちゃんしんは腰こしに長いながものさしをさし、片方かたほうの目めをつぶって、片方かたほうの手てをうしろにかくしながら、頭あたまをちよつとかしげて、みんながお話はなしをしているところへ、いばつて出てきました。

「いいか、よらばきるぞ？」と、いいました。

「なあに？ 新ちゃんしん、それは、なんのまねなの？」と、お母さんかあがおつしやいました。

「ねえ、お母さんかあ、タンゲサゼンのまねをしているのですよ。」と、兄さんにいの徳ちゃんとくが、いいました。

「どこでそんなもの見てきた？」と、お父さんとうがおわらになりました。

新ちゃんしんはそんなことには答えこたえないで、さつともものさしをひきぬいてふりまわしていました。

「また、一人ひとりきつたぞ。」と、とくいでいました。

「まあ、ほんとに困こまってしまいますこと。」と、お母さんかあはおつしやいました。

「お母さんかあ、チンドン屋やがこんなまねをしてくるのですよ。」

そういつて兄さんにいは、「おれはそんなばかなことはしないぞ。」といわぬばかりに、弟おとうと

のすることをみていました。

「ああ、そうか。新吉もチンドン屋のお弟子になるといい。」と、お父さんがおっしゃいました。

「チンドン屋なものか、小田くんからならったんだい。」と、新ちゃんはいいました。

「小田くんって、新ちゃんの組なの？」

「そうさ、小田くんは、それはうまいから。」と、新ちゃんはなにを思いだしたのか、感心をしていきます。

「その子は勉強がよくなるの？」

「そうよくできないよ。」

「じゃ、チャンバラがうまくたって、しかたがないじゃないか。」と、兄さんはいいました。

「それでも、その子はおもしろいよ。ぼく、大すきさ。」

「新ちゃんは、そんな子とばかりあそんでいるのでしょうか。」と、お母さんがおっしゃいました。

「話をきくとおもしろい子だね。きつと、その子も、きかんぼうだろう。」と、お父さん

がいわれました。

「お父^{とう}さんは、小田^{おだ}くん見^みた？」

「お父^{とう}さんは見^みなくたって知^しっているさ。」

「ほんとにかわいい、おもしろい、いい子^こなんだよ。」

そういつて、新^{しん}ちゃんは、自^じ分のすきなお友^{とも}だちがほめられたので、大^{おお}よろこびです。

「自^じ分^{ぶん}が小^{ちい}さいくせに、かわいらしいなんて。」と、兄^{にい}さんがわらいました。

「こんど、小田^{おだ}くんのうち、田^{いな}舎^{なか}へいくかもしれないよ。」

「どうして？」

「こないだ、小田^{おだ}くん、そんなことをいつていた。そうしたら、ぼく、さみしくて困^{こま}るな

あ。」

「きつと、じょうだんでしよう。」と、お母^{かあ}さんはおつしやいました。

そのあくる日^ひでした。うけもちの西^{にし}山^{やま}先^{せん}生^{せい}は、小田^{おだ}くんを教^{きょう}壇^{だん}によんで、

「こんど、小田^{おだ}くんのおうちは、とおいとこころへおひっこしになるので、みなさんとおわかれですから、ごあいさつをなさい。」と、おつしやいました。

みんなが立^たちました。そして級^{きゅう}長^{ちやう}の号^{ごう}令^{れい}で、礼^{れい}をしました。そのとき、ひょうき

んな小田くんは、いつものタンゲサゼンのまねをして、片目をつぶって頭をさげたので、これを見たものが、くすくすとわらいだしました。

「なにがおかしいのですか？」と、先生が、みんなにむかっていわれました。

「先生、小田くんがわらわせたのです。」

西山先生も、かねてから小田くんのことを知っておられたから、

「なにをしたんだ？」と、わらいながら、小田くんにおっしゃいました。

さすがに、小田くんは頭に手をあげて、顔を赤くしていました。

「先生、片目をつぶってタンゲサゼンのまねをしたのです。」

だれかがいったので、みんなが吹きだすと、先生もいっしょになっておわらいになりました。

その日、新ちゃんはおうちへかえると、一人ぼんやり考えていました。

「もう、あす、学校へいっても小田くんはこないな。」といって、目の中にいっばいなみだをためていました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

※表題は底本では、「片目《かため》のごあいさつ」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

片目のごあいさつ

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>